

2018年に実施した広報文化行事

「ジャパン・ウィーク」の開催

11月29日(木)～12月1日(土)



11月29日～12月1日、アルジェ市内文化宮殿において、「ジャパン・ウィーク」を開催しました。漫画家のカタヒラヨシミ氏と着付け師の林稜子氏をアルジェに招き、漫画や書道、折り紙のワークショップの他、着付けデモンストレーション及び着付け体験、漫画講演会、漫画イラスト大会、コスプレ大会、日本語弁論大会等実施し、多くの方に来場いただきました。29日の開会式では、志村公邸料理人による和食デモンストレーションも行われました。また、1日の日本語弁論大会では、日本語を勉強する9名のアルジェリア人が出場し、それぞれ日本との出会いや好きな言葉についてスピーチを行い、1位優勝者にはJTI社により日本往復航空券が贈られました。

アルジェ第2大学語学集中学習センターへの日本語教材及び日本図書の寄贈

11月26日(月)



11月26日、アルジェ第2大学語学集中学習センターに対し、日本語教材や日本文化紹介図書等計約70冊の寄贈を実施しました。同センターでは、各レベルの日本語授業が実施されており、今回寄贈された教材も、今後授業において活用される予定です。

アルジェ第1大学語学集中学習センターへの日本語教材及び日本図書の寄贈

11月12日(月)



11月12日、アルジェ第1大学語学集中学習センターに対し、国際交流基金助成事業による日本語教材計20冊の寄贈を実施しました。同センターでは、2017年から日本語授業が開始しており、今後これらの教材を活用して、アルジェリアにおける日本語教育の発展を促進していきます。

また、同じく国際交流基金助成事業として、10月29日～11月10日に開催された第23回アルジェ国際図書見本市において展示した日本文化関連図書及び小説等約40冊もあわせて寄贈しました。

1964年東京五輪回顧記念セレモニー

11月10日(土)



11月10日、アルジェ市内オリンピック・スポーツ博物館において、アルジェリアが1962年の独立後初めて参加した1964年東京五輪を回顧する記念セレモニーが開催され、小川大使が出席しました。同セレモニーには、1964年大会に唯一のアルジェリア代表選手として出場したモハメド・ヤマニ博物館長(元アルジェリア代表体操選手)の他、ムスタファ・ベラフ・アルジェリア・オリンピック委員会会長、ムスタファ・ラファウイ元アルジェリア・オリンピック委員

会事務局長等が参加しました。

小川大使はスピーチの中で、アルジェリアが初出場した記念すべき1964年大会が東京で開催されたことを光栄に思うと述べた後、2020年東京五輪についても紹介し、同大会においてアルジェリア代表選手の活躍を期待している旨述べました。

第23回アルジェ国際図書見本市への日本ブース出展

10月29日(月)～11月10日(土)



10月29日～11月10日、アルジェ市内SAFEX国際展示場にて開催された第23回アルジェ国際図書見本市において、日本図書ブースを出展しました。日本文学作品や日本文化紹介、日本語教材等の仏語・英語・アラビア語版を展示した他、折り紙の展示、ワークショップを実施しました。展示図書約200冊は、今後、アルジェ市内高等教育機関等へ寄贈されます。

狂言公演『昆布売』

11月3日(土)、11月4日(日)



11月3～4日、アルジェ市内イブン・ザイドゥーン劇場において、アルジェリア初の狂言公演を実施しました。伝統芸能としての狂言を紹介した後、狂言師の小笠原匡氏・小笠原弘晃

氏による『昆布売』上演、そして小舞の披露を行いました。4日にはミフビ文化大臣も観劇し、2日間で合計約800名の来場客が訪れました。

また、4日には舞台芸術高等学院において狂言ワークショップを行い、演劇課程の学生を対象に、小笠原匡氏・弘晃氏から狂言の演技技術をいくつか紹介しました。

第10回国際交響楽フェスティバルへの日本人音楽家参加

10月17日(水)



10月13日から19日にかけて、アルジェ・オペラにて開催された第10回国際交響楽フェスティバルに際し、日本人音楽家グループ「横浜シンフォニエッタ」(碓井俊樹さん(ピアノ)、依田晃宣さん(ファゴット)、坂口昂平さん(ヴィオラ))が参加しました。フェスティバル第5夜となる17日は日本、チェコ、南アフリカの演奏が行われ、武満徹、C.W.ウェーバー、小倉朗の楽曲の他、日本アニメ・漫画メドレーを披露していただきました。演奏後は、小川和也大使による花束贈呈が行われました。

茨木専門調査員による講演会「アルベール・カミュのアルジェリア」

10月15日(月)



10月15日、大使館の多目的ホールにおいて、茨木専門調査員による講演会「アルベール・カミュのアルジェリア」を開催しました。講演の中で、作家アルベール・カミュの人物像や作品について、また、アルジェリア文学から見るアルジェリアの歴史や文化について紹介しました。同講演会には、アルジェリア在住邦人の方にも多く出席いただきました。

小川大使のAPS社主への表敬

6月4日(月)



6月4日、小川大使は、当地APS紙カシャ社主を表敬しました。

小川大使のエル・ワタン紙社主への表敬

5月27日(日)



5月27日、小川大使は、当地エル・ワタン紙ベルフシェット社主を表敬しました。

小川大使のエル・ムジャヒド紙社主への表敬

5月27日(日)



5月27日、小川大使は、当地エル・ムジャヒド紙シュルフィ社主を表敬しました。

小川大使のリベルテ紙社主への表敬

5月23日（水）



5月23日、小川駐アルジェリア日本国大使は、当地リベルテ紙サイド・シェクリ社主を表敬しました。

日・アルジェリア友好レセプションの開催

3月26日（日）



3月19日、藤原大使はアルジェリア人国費留学生の日本への出発に際し、日・アルジェリア友好レセプションを開催しました。同レセプションには、ゼルーニ元副首相（元駐日大使）、ユースフィー大統領顧問、デバガ元駐日大使、ベンハビレス赤新月会長、ラズレグ元オラン工科大学学長、メキデシュ日・アルジェリア・ビジネスクラブ会長を始め、100名を越える元留学生やJICA研修員、日本企業関係者等が参加し、アルジェリア人合気道家5名による合気道デモンストレーションも披露されました。藤原大使は挨拶において、今年で日・アルジェリア外交関係樹立55周年であり、アルジェリア・日本友好協会の設立準備が進んでいることを紹介しつつ、2017年を日・アルジェリア関係飛躍の年にしたい旨発言しました。この4月以降に4人のアルジェリア人学生が国費留学生として日本に旅立ちます。これまでの国費留学生のOB、OG は約90名に上り、JICA 研修への参加者は350名以上に及んでいます。

森聡法政大学教授による講演会の開催

3月15日(木)



3月15日、アルジェ第3大学において森聡法政大学教授による「インド太平洋地域の激動－日本のチャレンジとチャンス」をテーマとした講演会が開催されました。講演会には大学教授や学生、メディア等約60名が参加しました。森教授は講演の中で、インド太平洋地域の経済成長と発展について触れた後、日米関係や東アジア情勢等にも触れ、日本政府の外交戦略について見解を述べました。講演後は教授や学生からの質疑応答の時間も設け、日本と近隣諸国との関係や、米中関係に関する見解等に関する多くの質問がありました。

国費留学生壮行会の開催

3月14日(水)



3月14日、小川大使は、本年日本へ出発する5名の国費留学生、元国費留学生、当国教育関係者及び政府関係者の他、当地訪問中の森聡法政大学教授、全日本柔道連盟より派遣されている久保比十志柔道コーチに参加していただき、国費留学生壮行会を開催しました。小川大使は冒頭スピーチにおいて、新たに日本留学に行く5名の学生に対して激励の言葉を贈るとともに、彼らが今後日本とアルジェリアの架け橋となり、二国間関係の強化に資する人材として活躍していくことを期待する旨述べました。また、今年度国費留学生からは、それぞれ留学に向けての豊富が述べられました。

フェンシング女子フルーレシニアナショナルチームの当地来訪

1月31日(水)～2月6日(火)



2月2日(金)～4日(日)にかけてアルジェで開催されたフェンシング国際大会に参加するため、日本からフェンシング女子フルーレシニアナショナルチームがアルジェリアを来訪しました。2月1日(木)には、大使公邸において、アルジェリア在住の邦人の方々を招待し、交流会及び壮行会を開催しました。

藤原大使によるアルジェ第3大学での講演会

1月31日(水)



1月31日、アルジェ第3大学において藤原大使による講演会「安倍政権下の日本と日アルジェリア関係」を開催しました。講演の中で藤原大使は、アベノミクスや日本外交、安全保障政策の紹介を行った他、日本とアルジェリアの友好関係の歴史と今後の展望について語りました。多くの学生や教授の他に、報道関係者も参加し、講演後の質疑応答においては、現在の日アルジェリア関係や日本外交政策に関する質問が多く寄せられました。

[【講演概要\(日本語\)はこちら】](#)

[【講演概要\(仏語\)はこちら】](#)